

学会報告

Saori Hashiguchi, Daisuke Fujisawa, Akiko Adachi, Kaya Miyajima, Mari Takeuchi, Hiroka Yoshikawa,
Sunre Park, Jyunzo Takeda

Patient Needs Survey on Palliative Care and its Status at Keio University Hospital.

The first International Multidisciplinary Forum on Palliative Care, Budapest, Hungary, 2010

安達昌子、野中博、杉本徳一郎

初期臨床医に対する地域医療研修についてのアンケート調査

-当院(地域の在宅療養支援診療所)での研修を通じて-

第12回日本在宅医学会大会 幕張 2010年

橋場真紀子、竹田公子、平井しのぶ、安達昌子、野中博

患者・家族が安心して最期まで過ごせる医療連携・在宅支援体制とは？

-頭頸部がん末期の在宅看取りの3症例を通じて-

第12回日本在宅医学会大会 幕張 2010年

白波瀬丈一郎

シンポジウム「若手医師に伝えたい面接技法を考える」：医療者の側に生じる感情に対処し、それを活用する。

第106回日本精神神経学会学術総会 広島 2010年

宮田知恵子、辻哲也、田沼明、木村彰男、里宇明元

がんのリハビリテーションにおける新しい身体機能スケールの開発。

第47回日本リハビリテーション医学会学術集会 鹿児島 2010年

田沼明、宮田知恵子、辻哲也、木村彰男、里宇明元

axillary web syndrome 患者の肩関節可動域 -肘肢位の影響-

第47回日本リハビリテーション医学会学術集会 鹿児島 2010年

満田恵、田沼明、宮田知恵子、増田芳之、岡山太郎、石井健、田尻寿子、辻哲也

下肢リンパ浮腫が運動能力に与える影響。 -重症度との関係-

第45回日本理学療法学術大会 岐阜 2010年

橋口さおり

オピオイド大量投与のため在宅への移行が困難であった一症例。

新宿区医師会第18回新宿医学会 東京 2010年

藤澤大介

シンポジウム：精神・心理的支援の理論的背景を学ぶ -認知行動療法・問題解決療法

第15回日本緩和医療学会学術大会 東京 2010年

安達昌子、藤澤大介、坂田昌美、竹内麻理、宮島加耶、吉川ひろか、福田陽子、須山郁子、朴順禮、橋口さおり、武田純三

緩和ケアチーム依頼症例において見落とされやすい症状はなにか。

第 15 回日本緩和医療学会学術大会 東京 2010 年

竹内麻理、藤澤大介、安達昌子、宮島加耶、吉川ひろか、坂田昌美、朴順禮、木村理恵子、須山郁子、橋口さおり、白波瀬丈一郎、鹿島晴雄

当院の緩和ケアチーム発足 2 年間の活動報告および今後の課題。

第 15 回日本緩和医療学会学術大会 東京 2010 年

吉川ひろか、濱田佑子、福田陽子、橋口さおり、坂田昌美、藤澤大介、蛇口智美、金子健、木村理恵子、須山郁子、武田純三

iv-PCA を利用した呼吸困難感に対するオピオイド投与の検討。

第 15 回日本緩和医療学会学術大会 東京 2010 年

津田彰、平井啓、井澤修平、中村菜々子、藤澤大介、石川善樹

健康心理学における feasible, effective, meaningful な研究計画の立案に向けて

- 研究計画の立案プロセスを学ぶ。

日本健康心理学会 千葉 2010 年

吉川ひろか、橋口さおり、津崎晃一、武田純三

AIDS 関連悪性リンパ腫に対する緩和ケアの経験。

第 50 回合同学術集会（日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部）東京 2010 年

白波瀬丈一郎

シンポジウム「がん患者に対する様々な精神療法」：裏方としての精神分析 『枠組み』と『逸脱』という視点、

第 23 回日本サイコオンコロジー学会総会 名古屋 2010 年

藤澤大介

シンポジウム「サイコオンコロジーの世界へようこそ」：がん患者さんに精神療法ができること。

第 23 回日本サイコオンコロジー学会総会 名古屋 2010 年

竹内麻理、藤澤大介、宮島加耶、坂田昌美、朴順禮、橋口さおり、白波瀬丈一郎、鹿島晴雄

当院におけるがん患者の家族に対する精神・心理的支援に関する検討。

第 23 回日本サイコオンコロジー学会総会 名古屋 2010 年

宮島加耶、藤澤大介、安達昌子、坂田昌美、竹内麻理、木村理恵子、須山郁子、吉川ひろか、朴順禮、橋口さおり、白波瀬丈一郎、鹿島晴雄

緩和ケアチーム依頼症例において見落とされやすい症状はなにか。

第 23 回日本サイコオンコロジー学会総会 名古屋 2010 年

朴順禮、藤澤大介、竹内麻理、河野佐代子、佐藤寧子

外来化学療法を受ける患者への問題解決療法（Problem-Solving Therapy:PST）による介入の一事例。

第 23 回日本サイコオンコロジー学会・第 10 回日本認知療法学会 名古屋 2010 年

安達昌子、坂田昌美、宮島加耶、吉川ひろか、竹内麻理、福田陽子、須山郁子、木村理恵子、朴順禮、橋口さおり、白波瀬丈一郎、武田純三

がん種別による当院緩和ケアチームへの依頼内容の検討.

第 48 回日本癌治療学会学術集会 京都 2010 年

竹内麻理、藤澤大介、宮島加耶、坂田昌美、朴順禮、木村理恵子、須山郁子、橋口さおり、白波瀬丈一郎、鹿島晴雄

当院におけるがん患者の家族支援に関する検討.

第 34 回日本死の臨床研究会年次大会 盛岡 2010 年

宮島加耶、竹内麻理、藤澤大介、坂田昌美、朴順禮、木村理恵子、須山郁子、橋口さおり、白波瀬丈一郎、鹿島晴雄

緩和ケアチーム依頼症例において見落とされやすい症状はなにか.

第 34 回日本死の臨床研究会年次大会 盛岡 2010 年